

2021 年 2 月 18 日

報道関係各位

東京建物株式会社
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

東京建物とピクシーダストテクノロジーズの取り組み第2弾 新型コロナウイルス対策 ～東京建物本社ビルにおいてコロナ対策BCPソリューション magickiri™（マジキリ）を活用して空気の流れを可視化～



（左から、ピクシーダストテクノロジーズ㈱代表取締役 CEO 落合陽一、東京建物㈱ 取締役専務執行役員 小澤克人、magickiri™に関する WEB 面談の様子）

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均 以下「東京建物」）とピクシーダストテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役：落合 陽一、村上 泰一郎 以下「PXDT」）とは、この度、新型コロナウイルス対策として、東京建物の本社ビルへPXDTのコロナ対策のBCPソリューションmagickiri™（マジキリ）を導入することを合意しましたのでお知らせします。

1. 本件の背景

東京建物とPXDTは、2020年6月よりPXDTが有する空間開発技術KOTOWARI™を活用し、オフィスワークの生産性を向上させ得る施策のデータ分析・可視化をする共同研究を行っています。（詳細は昨年6月10日のリリースをご参照ください：<https://pdf.irpocket.com/C8804/gAJe/YkdF/0gL7.pdf>）

この度の緊急事態宣言の再度の発出等を踏まえ、東京建物とPXDTが共同で行う取り組みの第2弾として、東京建物の本社ビルにおいて、PXDTのコロナ対策のBCPソリューションmagickiri™のplanning機能を活用して、オフィスビルにおける空気の流れを可視化することで、感染症安全性を評価、改善する取り組みを共同で実施することといたしました。

2. 東京建物のオフィスビルへの導入

東京建物グループは、お客様に「安全・安心・快適」の提供を通じて、オフィスビルに入居する人、働く人、訪れる人、一人ひとりが「私のビル」と感じることができるオフィスビルを目指し、ハード面のクオリティのみならず、ソフト面のサービスの向上にもグループ一体となって取り組んでいます。

一般的なオフィスビルの多くは、窓を閉鎖し外気の取入れを含めた温度調節および換気を行っていますが、東京建物が毎年実施しているお客様に対するアンケートでは、コロナ禍において換気に関する問い合わせが多く寄せられていました。そこで東京建物はお客様が従業員の感染に不安を抱えている状況に対して手を打つべく、PXDTと共同で、換気・空気の流れを可視化することができるmagickiri™につい

て、まずは、東京建物が本社を置く「東京建物八重洲ビル（2階）」へ導入し、自らのオフィスにおいて空気の流れを可視化して「感染症への安全対策」の検証を行う事と致しました。

お客様に対しても「感染症への安全対策」を提供する取り組みの一つとして、今後開発するオフィスビル等においても導入を検討し、感染リスクの低いフロアプランを用意する等、入居されるお客様へ提案することも計画しています。

東京建物八重洲ビル



magickiri™導入フロア



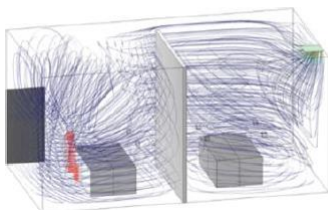
3. magickiri™の機能

「magickiri™」は、「Planning（プランニング）」と「Monitoring（モニタリング）」という2つの機能を持つ、コロナ対策のBCPソリューションです。オフィスや店舗、建設現場などの働く場において、感染症への安心・安全性を高めリスクを抑えることができます。

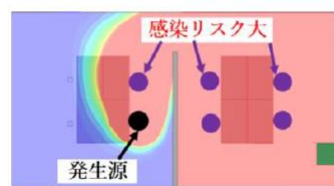
特に、今回導入するPlanning機能は、建物の3次元/エアフローデータ等をもとに、シミュレーションを行い、空間内感染リスクを診断し、その対応策まで提案するものです。また、この際には、過去の感染事例や感染症専門家の知見を元に作成した独自の指標を利用します。Planning機能によって、これまで各事業者の自主判断になっていた「何の感染症対策をどこまで実施すべきか」を、科学的に判断することが可能になりました。内装レイアウトや換気対策、具体的には、換気口や排気口、座席や間仕切りの配置や換気設備などの改善が行えます。

magickiri™ Planning（プランニング）

シミュレーション

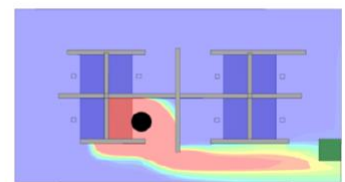


評価



※赤いエリアほど感染リスクが高い

改善



※間仕切りや換気口の位置等を変えることにより、赤いエリアが減少

4. 東京建物株式会社の取り組みについて

東京建物は、2030年頃をターゲットにした長期ビジョンとして「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立する次世代デベロッパーへの進化を掲げ、重点戦略として「社会課題解決に貢献するまちづくり」に取り組んでおります。

「社会課題解決に貢献するまちづくり」の実現に向け、社会課題の解決を中心テーマに据えながら、①多様な人々や企業との交流と豊かなコミュニティの醸成、②地域の歴史や文化の尊重、③持続可能な社会の実現、④多様なパートナーとの協働や先進的なテクノロジーの活用を重視しております。

5. ピクシーダストテクノロジーズ株式会社の取り組みについて

PXDTは、Digitally Rebalanced—世界をデジタル技術の観点から俯瞰し、新たな均衡点へ導く原動力となることを目指す大学発ベンチャーです。デジタルと物理世界を繋ぐインターフェース技術を研究開発し、連続的に社会実装していくことで、その実現に寄与します。

たとえば、withコロナ時代のBCPソリューション「magickiri™」、空間データを用いたアプリケーション開発プラットフォーム「KOTOWARI™」、耳の自由・不自由にかかわらず、音楽を身体で楽しめる「SOUND

HUG™」等をはじめとしたプロダクト/ソリューションを展開しています。今後も産学連携やオープンイノベーションを通じ、新たなインターフェース技術の社会実装を行っていきます。

PXDT は、変容する社会像や未来像を共に探るパートナーとして、アカデミックから現場の問題解決まで、通貫して課題解決を提案できる存在でありたいと考えています。

【会社概要】

■東京建物株式会社

代表取締役 社長執行役員 : 野村 均
本社所在地 : 東京都中央区八重洲 1-4-16
創立 : 1896 年 10 月 1 日
資本金 : 924 億円 (2019 年 12 月 31 日現在)
URL : <https://www.tatemono.com/>

■ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

代表取締役 : 落合 陽一、村上 泰一郎
本社所在地 : 東京都千代田区神田三崎町二丁目 20 番 5 号
住友不動産水道橋西口ビル 4 階
設立 : 2017 年 5 月
資本金 : 40 億 6,232 万 6,100 円 (2020 年 5 月 1 日現在/資本準備金を含む)
URL : <https://pixiedusttech.com/>

以上